

学校教育目標「認めあい 支えあい 高め合う」



あゆみ

令和6年5月号
令和6年5月1日発行

八潮市立八潮中学校
八潮市中央1-1-2
Tel:048-996-4219
生徒数 577人

負ける練習

校長 土谷 昌秋

一編の詩を紹介します。

柔道の基本は受け身 受け身とは投げ飛ばされる練習 人前でたたきつけられる練習
人の前で転ぶ練習 人の前で負ける練習

つまり、人の前で失敗をしたり、恥をさらす練習です
自分のカッコの悪さを多くの人前でぶざまにさらけ出す練習
それが受け身です

長い人生には、カッコよく勝つことよりもぶざまに負けたり、だらしなく恥をさらす方がはるかに多いのです

そして、負け方や受け身が本当に身についた人間が人の世の悲しみや苦しみに耐えて人の胸の痛みを心の底から理解できる優しく温かい人間になれるのです

これは「負ける練習」という詩です。
柔道だけでなく、人生に置き換えてみませんか？

たまには、派手に投げ飛ばされて負けたっていいんです。そのことが必ず役に立つのですから。投げられまい、投げられまいとするよりも、投げられたときに受け身を取り、直ぐに体勢を立て直す。失敗を恐れて何もしないよりも、失敗をしたとき、受け身を取って、次に備え、その失敗を生かす姿勢こそ大切なのです。

幸いにして学校というところはいくらでもこの「負ける練習」ができる場所です。今日がダメなら明日、今週がダメなら来週、今学期がダメだったら来学期、と受け身を取って体勢を立て直せる場所なのです。

上手に「負ける練習」を積んでください。
それがみなさんの本当の力になっていくのです。

来月、いよいよ大会が始まる。
弱さを知る人こそ本当は強い人…



転んでも立ち上がれ